

はしがき

本テキストはリメディアルテキストとして設計され、CEFRレベルA2、TOEIC 300-400レベルの学生を対象に、英語学習の「やり直し」ではなく、英語学習の「とらえ直し」を目的として開発されました。かつて道に迷って登れなかった山〔英語〕を、同じ道と方法で登ろうとしても登ることは難しいかもしれません。そこで、目標とする山〔英語〕を俯瞰することで、学生の皆さんにとって登りやすいルート〔学習法〕を見つけ、そこから登山〔英語学習〕を楽しんでもらいたいと考え、本テキストを制作しました。

本テキストは「意味順」を活用することにより、無理なく視覚的に英語の文構造を理解し、文法や語彙の理解を深め、4技能をバランスよく習得できるように工夫されています。また、世界旅行をする登場人物と共に、自然、食べ物、音楽など、驚きと発見の異文化体験を通じて、学生の皆さんは知的好奇心を満たしながら楽しく英語を学ぶことができるでしょう。

本テキストは全15ユニットから成り、各ユニットは6つの大きなセクション（語彙／フレーズ、文法、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング）で構成されています。

各セクションのアクティビティでは、類似した語彙やフレーズを使った英文を用いることで、幅広い英語表現を学べるように心掛けています。また、「考えながら聞く」「考えながら話す」などのアクティビティを通じて、インテイクに配慮し、自ら問題を解決する能力を伸ばすことができるよう工夫しました。ペアワークを随所に設け、思考力や協働力、対人コミュニケーション力を育成するために、Open-endedの質問や課題を用意し、学生同士で多様な意見の共有を可能にしています。

個々のセクションは10～15分程度で終了する設計にしているため、集中力を維持しつつ効率的な学習が可能です。また、意味順ボックスやイラストを多く使用することで、情報の補足や修正が必要な場面でも視覚的な手助けができるよう配慮しました。さらに、単文から複文、モノログからダイアログ形式へのステップアップで学習できる作りになっており、楽しみながら、そして容易に、実践的かつ実用的な英語をマスターできるように作られています。

本テキストを通じて、学生の皆さんがより広い世界に興味をもつと同時に、効果的にコミュニケーションをとる能力を身につけられますことを願っています。

著者一同

本テキストの使い方

Warm Up

(5分)

このセクションは、各ユニットの最初に位置しています。ここでは、そのユニットの主題(テーマ)に基づいた重要な語彙を自ら考え、書き出します。主題に関連する語彙をユニットの始めに習得することで、その後のアクティビティの理解促進に繋げることができます。

Key Vocabulary

(5分)

A このセクションでは、新しい英語表現を学びます。イラストを見てその状況に適したフレーズを選ぶことで、語彙やフレーズの理解を深めます。まずは各イラストを確認し、それが表現しているシーンを理解します。次に、フレーズ(aとb)を見て、どちらがイラストのシーンに最も適しているかを答えます。

B このセクションでは、**A**で選択したフレーズが正しいかどうかを音声で確認します。音声は選択したフレーズを含む英文なので、各フレーズの適切な使い方や、より自然な英語表現を身につけることができます。

Key Sentences

(5分)

このセクションでは、主題に関連する重要な英文を学びます。このセクションは、発音、強勢、イントネーションを実際の文脈で練習するための重要なパートです。まず初めに、英文の意味と文脈を理解することに焦点を当てましょう。次に、音声を聞きながら英文の音読を行い、発音、強勢、イントネーションを模倣しましょう。

Let's Practice

(5分)

A このセクションでは、**Key Sentences**で学習した表現を実際の会話(ダイアログ)を通じて学びます。日本語を参考に空所に適切な英語を入れて、会話を完成させましょう。このセクションは、ダイアログ形式を用いて新しい語彙と表現が実際のコミュニケーションの状況でどのように使用されるかを理解するための重要なパートです。

B このセクションでは、**A**で完成させたダイアログの答えを音声を聞いて確認します。その後、ペアを組んでダイアログの会話練習を行います。この活動は、答えの確認のみならず、完成させたダイアログを用いて新しい語彙と表現を実際のコミュニケーションの状況で使用するための重要なパートです。

Grammar

(5分)

このセクションでは、各ユニットに関連した文法を学びます。各文法は例文と共に提示され、理解の促進を図ります。

Exercises

(10分)

このセクションでは、**Grammar** で学んだ文法を用いて英文を作成する練習を行います。英文を作る際は「意味順ボックス」を用います。「意味順ボックス」を使うことで各文法ポイントの構造を視覚化できるため、どんな英文でも簡単に作成することができます。まずは日本語を「意味順ボックス」に入れてから、それぞれの日本語を英語にしてみましょう。

Listening

(15分)

- A** このセクションでは、ユニットの主題に関連した会話をダイアログ形式で聞きます。ここでは、リスニングスキルを向上させ、自然な英会話の理解を深めます。何度も聞くことで、自然な英語の速度と音調に慣れましょう。また、ディクテーションを行うことで、詳細や新しい語彙を理解します。
- B** このセクションでは、さらにリスニングスキルを磨くために、Listening Comprehension (聞き取り理解) アクティビティを行います。まず、1～4の空所に入る適切な語を選択肢から選び、会話を完成させます。次に、音声を聞いて答えを確認します。その後、5・6の質問に対してダイアログから答えを見つけます。これにより、具体的な情報の抽出や、聞き取った内容から推論を行うなど、聞き取りと理解の精度を高めます。

Reading

(15分)

- A** このセクションでは、英文を読み、それに最も合致するイラストをa～cの選択肢から選びます。ここでは視覚情報から内容への関連性を理解すると共に、読解力を鍛えます。
- B** このセクションでは、ショートパッセージを読み、その内容を理解した上で、Comprehension Question (理解問題) に英語で答えます。読解力を強化すると同時に、英語で考え、情報を整理し、明確に表現するスキルを磨きます。

Writing

(15分)

このセクションでは、「意味順ボックス」を使用して英文を作成します。**Exercises**と同様に、まずは日本語を「意味順ボックス」に入れてから、それぞれの日本語を英語にしてみましょう。また、「意味順ボックス」の英文は、連続したストーリーの一部となるように工夫されています。したがって、このアクティビティでは全体のストーリーを把握しながら各英文を作ることで、より大きな文脈で英語を使う能力を育てます。

Speaking

(10分)

このセクションでは、与えられたテーマに基づいて、自分で英文を作り、クラスメートとペアを組んで会話をしたり、インタビューをしたり、発表をしたりします。これにより、自分の考えを英語で明確に伝える能力や協働力を鍛えます。また、会話の中で、これまでに学んだ語彙、英語表現、文法を実際に使ってみると共に、リアルタイムのコミュニケーションスキルを磨きます。

意味順ボックスの使い方

従来一般的な学習法では、英文の作成には、S「主語」、V「動詞」、O「目的語」、C「補語」などの文法用語を用いていましたが、本テキストではこうした（難解な）文法用語を介さずに英文を理解し、意味から直接英文作成を可能にする「意味順」を採用しています。

具体的には、「だれが」「する（です）」「だれ・なに」「どこ」「いつ」という「意味のまとまりの順序」（意味順）に沿って語句をつないで英文を作成します。

意味順を体験してみよう！

次のようなステップで簡単に英文を作ることができます。

- ① 日本語の文を意味で分ける
- ② 意味ごとに意味順ボックスに入れる
- ③ 日本語を英語に変換する
- ④ 英文法を確認する

ではさっそく、次の日本語で試してみましょう。その後で、解説動画を見て確認しましょう。

1. 彼は毎日図書館で英語を勉強します。

だれが	する（です）	だれ・なに	どこ	いつ



2段の意味順ボックス

次は2段の意味順ボックスを使って、もう少し複雑な関係代名詞を使った英文に挑戦してみましょう。その後で、解説動画を見て確認しましょう。

2. 彼は私たちが知っている図書館で英語を勉強します。

たまたま	だれが	する（です）	だれ・なに	どこ	いつ



Make Your Way!

Communicating
while Abroad

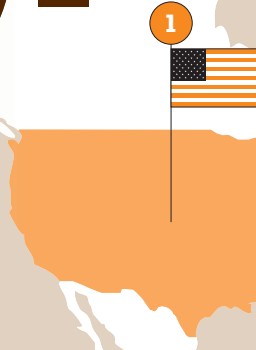


Table of Contents

Unit 1 Introductions in the USA

- 11
- ▶ be動詞と一般動詞を使い分けができる
 - ▶ 自己紹介と観光に関する表現を使えるようになる

Unit 2 The Natural Wonders of Iceland

- 17
- ▶ 進行中の動作を表現できるようになる
 - ▶ 自然に関する表現を使えるようになる

Unit 3 Getting Around the UK

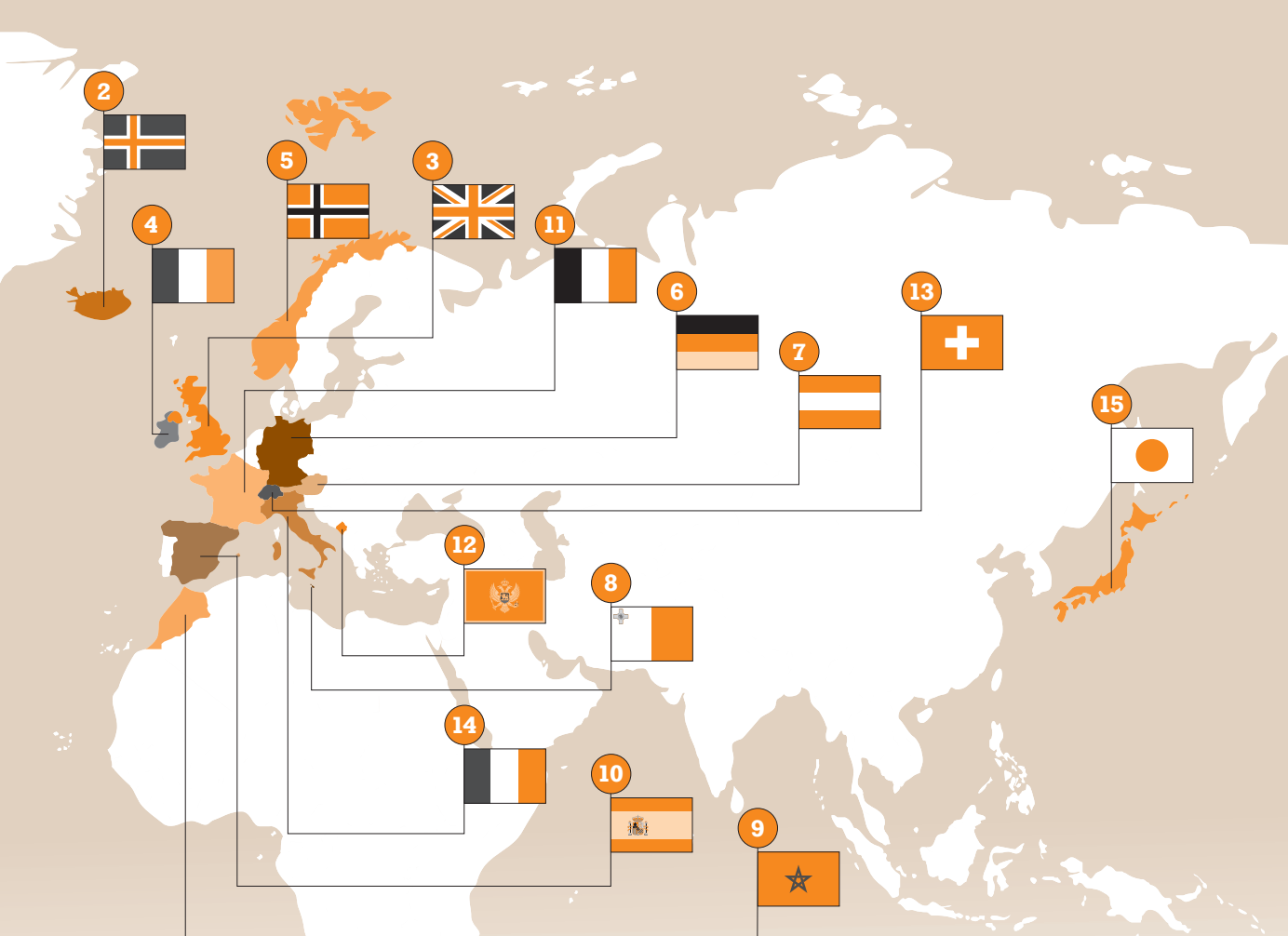
- 23
- ▶ 否定文や疑問文が使えるようになる
 - ▶ 交通機関に関する表現を使えるようになる

Unit 4 Tackling Rugby in Ireland

- 29
- ▶ 命令や指示を伝えることができる
 - ▶ スポーツに関する表現を使えるようになる

Unit 5 Norwegian Folktales

- 35
- ▶ 過去形を使って物事を説明できるようになる
 - ▶ 自然・アウトドアや北欧の文化・歴史に関する表現を使えるようになる



Unit 6 Food Tour in Germany

- 41 ▶ 未来のことについて表現できるようになる
▶ 食べ物・飲み物に関する表現を使えるようになる

Unit 7 Austrian Symphony

- 47 ▶ WH疑問文を使い分けができる
▶ 音楽に関する表現を使えるようになる

Unit 8 The Animals of Malta

- 53 ▶ 助動詞を使い分けができる
▶ 生き物に関する表現を使えるようになる

Unit 9 Moroccan Souvenirs

- 59 ▶ 現在完了形を使えるようになる
▶ 買い物に関する表現を使えるようになる

Unit 10 Spanish Dancing Lessons

- 65 ▶ 受動態を使うことができる
▶ 伝統舞踊に関する表現を使えるようになる

Unit 11 Fashion Week in France

- 71 ▶ 最上級を使うことができる
▶ ファッションに関する表現を使えるようになる

Unit 12 A Fjord in Montenegro

- 77 ▶ 比較級を使うことができる
▶ 街並みに関する表現を使えるようになる

Unit 13 Swiss Sweets

- 83 ▶ 〈一般動詞＋不定詞／動名詞〉を使うことができる
▶ スイーツに関する表現を使えるようになる

Unit 14 Fine Art in Italy

- 89 ▶ 接続詞を使うことができる
▶ 絵画（アート）に関する表現を使えるようになる

Unit 15 Back Home to Japan

- 95 ▶ 関係代名詞を使うことができる
▶ 思い出を伝える表現を使えるようになる

Introductions in the USA

Unit

1



Can Do

リクはニューヨークに到着しました。彼はニューヨークに住むいとこのメグと一緒にいろいろな観光地を巡るようです。観光中にメグが友達のリサを紹介してくれました。

- ▶ be動詞と一般動詞を使い分けができる
- ▶ 自己紹介と観光に関する表現を使えるようになる

Warm Up

日本語から連想する英語を空所に書きましょう。

旅行に必要なもの

camera

Key Vocabulary

A 1~4のイラストに合う表現をa・bからそれぞれ選びましょう。 DL 002 CD 1-02

1.



- a. draw a picture
- b. take a picture

[]

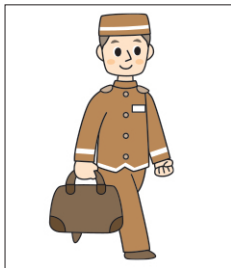
2.



- a. purchase a souvenir
- b. sell a souvenir

[]

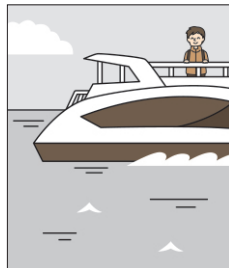
3.



- a. carry the bag
- b. leave the bag

[]

4.



- a. operate the ferry
- b. ride the ferry

[]

B **A** の1~4のイラストを表す英文を聞いて、答えが合っているか確認しましょう。

DL 003 CD 1-03

Key Sentences

リクはニューヨークで出会ったリサに自己紹介します。1~4の英文の音声を聞いて、あとについて言ってみましょう。

 DL 004  CD 1-04

1. My name is Riku.

私の名前はリクです。

2. I am a university student.

私は大学生です。

3. I live in Tokyo.

私は東京に住んでいます。

4. I like soccer.

私はサッカーが好きです。

Let's Practice

A 1~4の対話が成り立つように、日本語を参考にしながら空所に適切な英語を入れましょう。

1. **A:** What is your name? あなたの名前は何か。

B: My () () Meg. 私の名前はメグです。

2. **A:** What do you do? あなたの職業は何ですか。



B: I () a (), 私は教師です。

3. **A:** Where do you live? あなたはどこに住んでいますか。

B: I () () Florida. 私はフロリダに住んでいます。

4. **A:** What do you like? あなたは何が好きですか。

B: I () (). 私はイヌが好きです。

B 音声を聞いて答えを確認し、ペアになって話してみましょう。  DL 005  CD 1-05

Grammar

現在形 (be 動詞・一般動詞)

▶ 「〇〇は～です」と表現したい場合は **be動詞** を使います。be動詞は **am, is, are** の3つしかありません。

	主語	例文
amを使う場合	I	I am an exchange student. 私は留学生です。
isを使う場合	He, She, Itなど単数の人・物	He is kind. 彼は親切です。
areを使う場合	You, They, Weなど複数の人・物	We are travelers. 私たちは旅行者です。

▶ 「〇〇は～します」と表現したい場合は **一般動詞** を使います。一般動詞は動作を表します。一般動詞はいろいろな意味を表現するため、数多くあります。例えば、「私はペンを使います」の「使う」は動作を表す一般動詞です。

一般動詞の例：eat「食べる」、use「使う」、buy「買う」、go「行く」、sleep「寝る」、meet「会う」、call「電話する」、ask「質問する」、visit「訪問する」、see「見る」

▶ 一般動詞を使用する際に気をつけなければならないのが **3単現** (3人称単数現在形) です。3人称単数とはI、You以外の1人の人や1つの物のことです。そして、それらの主語を使用し現在形の英文を作る際は、一般動詞に **-s** または **-es** をつけます。

She eats **s** lunch. 彼女は昼食を食べます。

Sota **goes** to Central Park. ソウタはセントラルパークに行きます。

Exercises

1~3の日本語に合うように、意味順ボックスに適切な英語を入れましょう。まず日本語を意味順ボックスに入れてから、それぞれの日本語を英語にしてみましょう。

DL 006 CD 1-06

1. 私は日本人です。

だれが	する(です)	だれ・なに	どこ	いつ
		Japanese.		

2. メグは私のいとこです。

だれが	する(です)	だれ・なに	どこ	いつ
		my cousin.		

3. リクは毎日、図書館で英語を勉強します。

だれが	する(です)	だれ・なに	どこ	いつ
			in the library	

📍 Listening

A リクとメグがニューヨークを観光しながら話しています。1~3の音声を聞いて、意味順ボックスの()内に適切な英語を入れて英文を完成させましょう。

👂 DL 007 🎧 CD 1-07

1. **A** Who is she?

B だれが	する(です)	だれ・なに	どこ	いつ
()	()	our tour guide.		

2. **A** How do we go to Staten Island?

B だれが	する(です)	だれ・なに	どこ	いつ
()	()	the ferry	to Staten Island.	

3. **A** Central Park is very beautiful.

B だれが	する(です)	だれ・なに	どこ	いつ
Many people	()	pictures	here	()

B リクたちは昼食を食べようとしています。1~4の空所に入る語を下の選択肢から選び、会話を聞いて答えを確認しましょう。また、5・6の質問に答えましょう。

👂 DL 008 🎧 CD 1-08

Lisa: Let's eat at a halal food cart for lunch. Many college ¹() eat there.

Riku: Halal food? What is that?

Lisa: Halal food is food that Muslims can eat under Islamic Law. There are many Muslims in New York. A popular ²() is lamb or chicken over rice. You choose your meat and sauce.

Riku: I see the carts everywhere! I want chicken over rice. Which sauce is good?

Meg: There are two kinds of sauce. There is a red ³() and a white sauce.

Riku: Oh! What is the white sauce?

Meg: Well ... I don't know. I think the white sauce is mild, and the red sauce is spicy.

Riku: It is a NY ⁴(). I like spicy food, so I will try the red one.

dish

students



mystery

sauce

5. ハラル料理の屋台で注文する時に、何を選択しますか。

6. ソースは何種類ありますか。

 **Reading**

A ニューヨークのガイドブックに掲載されている 1~3 の英文に合うイラストを a~c から選びましょう。  DL 009  CD 1-09

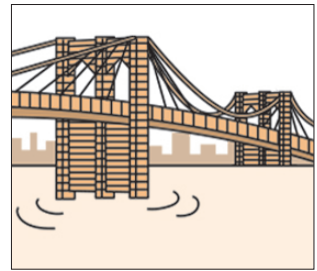
1. This is a famous symbol of the USA. When people see it, they think about “freedom.” The woman holds a tablet and a torch. It was a gift from France! []
2. This place is famous for its beautiful view of Manhattan. Many people take pictures of the skyline from there. It is 1834 meters long. []
3. This place is a famous building between 48th Street and 51st Street. People love the view from the top. It has 70 floors. People purchase souvenirs there. []



a. Rockefeller Center



b. Statue of Liberty



c. Brooklyn Bridge

B ニューヨークの紹介文を読んで英語で質問に答えましょう。  DL 010  CD 1-10

Real Japanese Sushi in New York

“Real” Japanese sushi looks different in New York. A popular sushi dish is a “dragon roll.” The roll has eel and cucumber inside and avocado on top. Another popular roll is the “Philadelphia roll” with salmon on top and cream cheese and cucumbers inside! What are some interesting sushi recipes you know?

A View of New York Skyline

New York is a beautiful city. It has five “boroughs” or areas. Manhattan and Staten Islands are two boroughs, and they are islands. Many people ride a ferry between the two islands. They enjoy the view of the city skyline from the water! Some people say the best time to see it is at night.

1. ドラゴンロールの中には何が入っていますか。

2. 多くの人はマンハッタン島とスタテン島の間を何で行き来しますか。

📍 Writing

リクは宿泊するホテルに到着しました。1~3の日本語に合うように、意味順ボックスに適切な英語を入れて英文を完成させましょう。まず日本語を意味順ボックスに入れてから、それぞれの日本語を英語にしてみましょう。()内の語句はヒントです。

👤 DL 011 🎧 CD 1-11

1. リクはフロントで彼の部屋の鍵をもらいます。(at the front desk)

だれが	する(です)	だれ・なに	どこ	いつ

2. ホテルスタッフはリクのバッグを彼の部屋へ運びます。

だれが	する(です)	だれ・なに	どこ	いつ

3. リクは午後9時にベッドの上でリラックスします。

だれが	する(です)	だれ・なに	どこ	いつ

📍 Speaking

リクがメグの友達のリリーに自己紹介しています。2人の会話を参考に、ペアで自己紹介をしてみましょう。

👤 DL 012 🎧 CD 1-12



例：

Riku: Hi, my name is Riku.

A: _____

Lily: Nice to meet you, Riku! I am Lily.

B: _____

Riku: I am from Tokyo. How about you?

A: _____

Lily: I am from San Francisco.

B: _____